

やっぱりオーケストラが好き

質の高い演奏を目指している彼らだが、メンバー全員の意欲にあふれた心のこもった演奏が、何よりの魅力。それは音楽監督の三石精一が音楽に向かう姿勢そのものでもある。2007年4月に行った設立10周年記念演奏会は、東京芸術劇場での邦人オーケストラ公演として、最高入場者数を記録したのもうなずけるといえるもの。定期演奏会の回数が少ないのが残念だが、プログラムは毎回意欲的なもの。今回はレスピーギの作品で統一。弦楽合奏「リュートのための古風な舞曲とアリア」第3組曲で

スタート。親しみやすさと芸術性の高さを併せ持つレスピーギの世界へと誘ってくれる。メインは「ローマ三部作」と呼ばれている「ローマの松」「ローマの噴水」「ローマの祭り」を一挙に演奏。大きな編成を必要とする作品で、ゴージャスで多彩なサウンドを持つ、オーケストラならではの醍醐味がたっぷりと味わえる。今回は107名のメンバーが集結して臨むという。東京文化会館が感動に震えるコンサートになりそうだ。文:堀江昭朗

第29回定期演奏会《ローマの祭り》★5月19日(木)・東京文化会館 ●発売中
☎ ユニフィルチケットセンター 03-3632-3572 <http://www.mitsuishiseiichi-uniphil.com>



三石精一